

# NEWS LETTER

## 横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター8階

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会内

TEL 045-201-8620 FAX 045-201-1620

E-mail: saivol@yokohama-saigai-vol-net.jp

2015年3月発行 No.52

注目!!



### 横浜市災害ボランティア支援センターホームページ

平成 25 年度に作成した横浜市災害ボランティア支援センターのホームページを、より見やすく情報の取得が容易になるように、レイアウトの見直し・変更を行いました。

あわせて、横浜災害ボランティアネットワーク会議のホームページ内に、横浜市災害ボランティア支援センターホームページのバナーを作成しました。

#### 【横浜市災害ボランティア支援センター HP】



#### 【横浜災害ボランティアネットワーク会議 HP】



バナーはこちら

\* 横浜市災害ボランティア支援センターとは・・・

災害時に、各区災ボラセンターが具体的なボランティア等の活動支援を行うのに対し、各区災ボラセンター間や横浜市災害対策本部との調整、外部対応等の統括的役割を担います。

#### 【主な役割】

- 市内の被災状況や消防・警察等の総合的な情報を収集し、各区へ情報提供。
- 各区災ボラセンターの立ち上げが困難な場合やボランティア不足等の課題に対して、市域での支援・調整。
- 各区のボランティアニーズ等の状況を把握し、市内及び市外へ情報発信。

## 実施報告



## 災害ボランティア図上シミュレーション訓練

市と区の連携および各区間での連携について検討することを目的に、災害ボランティアセンターの運営における図上シミュレーション訓練を行いました。

- 【実施日】 平成26年12月20日(土) 9時30分～12時00分  
 【会場】 横浜市健康福祉総合センター 8階 大会議室 8A・8B・8F  
 【参加者数】 56名

内訳)Aブロック(鶴見・神奈川・西・南・中):13名  
 Bブロック(港南・磯子・金沢・戸塚・栄):13名  
 Cブロック(旭・保土ヶ谷・泉・瀬谷):10名  
 Dブロック(港北・緑・青葉・都筑):5名  
 市域団体:9名

(横浜市国際交流協会、パルシステム神奈川ゆめコープ、  
 ガールスカウト横浜市連絡協議会、横浜YMCA、  
 神奈川災害ボランティアネットワーク)

横浜市市民局:3名  
 横浜市社会福祉協議会:3名



### 【内 容】

- 被害想定について
  - ・横浜市内各区の地震被害想定について、横浜市総務局危機管理室より説明。
- 図上訓練
  - ・各ブロックの参加者で、地図をもとにDIG(災害図上訓練)を行う。
- シミュレーション訓練
  - ・各区災害ボランティアセンターの立ち上げ検討
  - ・他区災害ボランティアセンターの立ち上げ支援の検討
  - ・市災害ボランティア支援センターの要請を受け、ボランティアニーズへの対応・調整。
- 横浜市市民局と市災害ボランティア支援センターの連携・報告に向けた訓練
  - ・各区災害ボランティアセンターの立ち上げ状況について、防災無線を使用して報告。



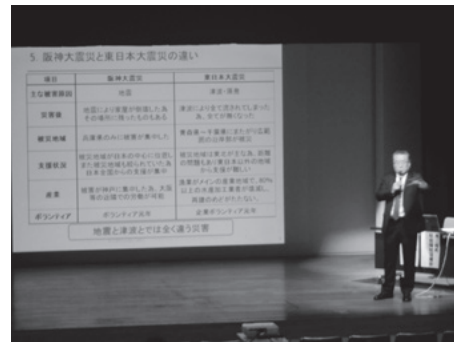
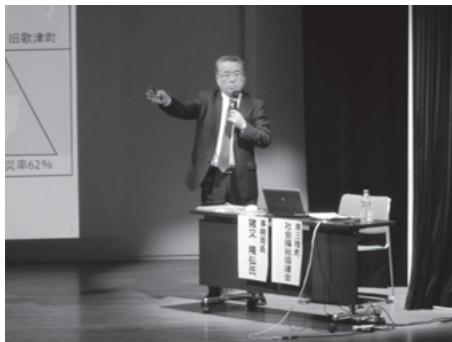
## 実施報告



# コーディネータースキルアップ研修会

災害ボランティアセンターが担うべき役割を理解し、ボランティアのコーディネートを行う際に大切にすべき視点を育み、災害時に必要な支援や活動について学ぶことを目的に開催しました。今回の研修では、南三陸町社会福祉協議会の猪又事務局長をお招きして、東日本大震災の経験をもとにお話を伺いました。

- 【実施日】 平成27年2月3日(火) 9時30分～12時00分  
 【会場】 横浜市健康福祉総合センター 4階 ホール  
 【参加者数】 114名  
                   内訳) 行政職員：57名、各区災ボラ・社協職員：57名  
 【内容】 災害ボランティアセンターの運営とコーディネートについて  
 【講師】 社会福祉法人 南三陸町社会福祉協議会  
                   事務局長 猪又 隆弘氏



## 【当日の参加者アンケートより】

### 《感想等》

- 被災地で災害ボランティアセンターを立ち上げ、復興に携わる生の声が聴けて参考になった。
- 災害ボランティアセンターの立ち位置と、どう運営するのが必要か等の話が聞けてよかった。
- 出来ること出来ないこと、今やるべきこと、まだやるべきではないこと、いろいろなことを考慮して判断しなければならないと感じた。
- コーディネーターは交代でやっていくことを考えねばならないことは考慮に入れなくては・・・。
- 年間20回近く防災・防犯訓練を子ども達と行っているが、再度見直し、実のある訓練内容にしていきたい。
- 直接的な支援にとらわれがちだが、多角的な視点が必要だと考えさせられた。
- 企業支援と企業ボランティアの受入れは、横浜でも有効な取組みだ。
- 実体験を踏まえた話で、机上だけでは見えてこない課題等参考になった。



### 《今後希望する研修》

- いつどんな困難があるか等、災害ボランティアセンター立ち上げ段階での詳細について
- 災害ボランティアセンター運営の問題点と参考とすべき実例等
- 山形や広島で災害ボランティアセンターを運営された方の話

## 実施報告



## 区災害ボランティアネットワーク連絡会（全体会）

現在、市内の18区をA～Dの4ブロックに分けて、ブロック別に災害ボランティアネットワーク連絡会を行っています。ブロック別連絡会をより有益なものへ発展させていくことを目的に、全区を対象とした全体会を開催しました。全体会では、これまでの活動報告や他ブロックとの情報交換を行いました。

【実施日】 平成27年3月2日(月) 18時00分～20時00分

【会場】 横浜市健康福祉総合センター 8階 大会議室8A・8B

【参加者数】 45名

内訳)Aブロック(鶴見・神奈川・西・南・中):10名

Bブロック(港南・磯子・金沢・戸塚・栄):16名

Cブロック(旭・保土ヶ谷・泉・瀬谷):12名

Dブロック(港北・緑・青葉・都筑):4名

横浜市社会福祉協議会:3名



## 【内容】

## ○各ブロック連絡会の活動報告

- ・A～Dブロックの、一年間の連絡会開催数や内容、現在取り組んでいること、次年度のテーマ、課題等についての報告

## ○情報・意見交換会

- ・ブロック別連絡会としての他ブロックとの情報・意見交換  
「人員以外の連携」、「災害時の連携」、「ブロック内での共同訓練や鋼材の実施」などについて他ブロックと情報交換。
- ・各区災害ボランティアネットワークとしての情報・意見交換

